

環境委員会

委員一覧 (20名)

委員長	佐藤	信秋 (自民)	岸	宏一 (自民)	榛葉	賀津也 (民主)
理事	中西	祐介 (自民)	高橋	克法 (自民)	長浜	博行 (民主)
理事	吉川	ゆうみ (自民)	中川	雅治 (自民)	浜野	喜史 (民主)
理事	柳澤	光美 (民主)	林	芳正 (自民)	竹谷	とし子 (公明)
理事	市田	忠義 (共産)	藤井	基之 (自民)	水野	賢一 (みん)
	岩城	光英 (自民)	山本	順三 (自民)	清水	貴之 (維新)
	尾辻	秀久 (自民)	小見山	幸治 (民主)		(26. 3. 11 現在)

(1) 審議概観

第186回国会において、本委員会に付託された法律案は、内閣提出2件、衆議院提出1件（環境委員長）及び本院議員提出2件の合計5件である。内閣提出及び衆議院提出は、いずれも可決し、本院議員提出は、いずれも継続審査とした。

また、本委員会付託の請願10種類65件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

放射線を発散させて人の生命等に危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第36号）は、核物質の防護に関する条約の改正の適確な実施を確保するため、特定核燃料物質をみだりに輸出入する行為等の処罰規定を整備する等、所要の措置を講じようとするものである。

委員会においては、新たに追加される処罰規定の内容、我が国の核セキュリティ対策の現状と課題等について質疑が行われ、全会一致をもって可決された。

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第57号）は、最近における鳥獣の生息の状況及び狩猟の実態に鑑み、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化の一層の推進を

図るため、集中的かつ広域的に管理を図る必要がある鳥獣の捕獲等をする事業の創設、鳥獣の捕獲等をする事業の認定制度の導入等の措置を講じようとするものである。

委員会においては、参考人から意見を聴取するとともに、地域の狩猟者団体と認定事業者との調整・連携の必要性、捕獲等に対する財政支援の重要性、野生鳥獣肉の利活用の推進等について質疑が行われた。また、本法律案の審査に資するため、栃木県日光市に視察を行った。

質疑終局後、日本共産党の市田理事から、本法律案の措置を講じないこととした上で、現行の特定鳥獣保護管理計画制度の拡充・強化を図ること等を内容とする修正案が提出された。順次採決の結果、修正案は否決され、本法律案は多数をもって原案どおり可決された。なお、附帯決議が付された。

衆議院提出（環境委員長）の**地域自然資産区域における自然環境の保全及び持続可能な利用の推進に関する法律案（衆議院提出（環境委員長）の地域自然資産区域における自然環境の保全及び持続可能な利用の推進に関し基本方針の策定、地域計画の作成等について定め、地域計画に基づく事**

業又は活動の実施について自然公園法等の特例措置等を講じようとするものである。

委員会においては、本法律案の対象となる地域及び団体、入域料の徴収に関する課題等について質疑が行われ、討論の後、多数をもって可決された。

〔国政調査等〕

3月11日、環境行政等の基本施策について石原国務大臣から所信を聴くとともに、平成26年度環境省予算及び環境保全経費の概要について北川環境副大臣から、公害等調整委員会の業務等について富越公害等調整委員会委員長から、原子力規制委員会の業務について田中原子力規制委員会委員長からそれぞれ説明を聞いた。

3月13日、環境行政等の基本施策に関する件、公害等調整委員会の業務等に関する件及び原子力規制委員会の業務に関する件について調査を行い、中小企業を含めた環境経営の取組のインセンティブ施策、国直轄除染の進捗状況及び中間貯蔵施設の見通し、敦賀原発敷地内破砕帯についての再評価の進め方、生ごみのバイオガス化の推進策、原子力規制委員会の人選に係るガイドライン、水俣病認定基準の見直し、再生可能エネルギー固定価格買取制度をめぐる諸問題等について質疑を行った。

3月17日、予算委員会から委嘱された平成二十六年度一般会計予算、同特別会計予算及び同政府関係機関予算（総務省所

管（公害等調整委員会）及び環境省所管）について審査を行い、一般廃棄物処理施設の災害対策強化の観点からの整備方針、市町村除染における除去土壌等の現場保管の状況、福島県におけるバイオマス発電に伴うセシウム問題への対応、代替フロンHFCの生産・使用の低減に向けた取組、国直轄除染における除染作業員の労働環境是正の指導監督、除染の適正化に向けた取組等について質疑を行った。

4月10日、委員会審議における政務三役の対応、帰還に向けた放射線健康不安対策、浄化槽の維持管理、地球温暖化対策税の効果、水質環境基準CODの測定方法、水俣病被害者救済、新たな気候変動キャンペーン等について質疑を行った。

6月5日、東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への取組状況等に関する実情調査のため、福島県に視察を行った。

6月12日、国連持続可能な開発のための教育（ESD）活動、放射線リスクコミュニケーション、原子力規制委員会の審査の在り方、浄化槽の維持管理、木質バイオマス発電への支援策、東京電力福島第一原子力発電所の汚染水対策、放射性物質の常時監視、除染の目標及び実施状況等について質疑を行った。

6月19日、中間貯蔵施設をめぐる石原環境大臣の発言、中間貯蔵施設の住民説明会、原子力規制委員会の委員長及び委員の欠格要件等について質疑を行った。

（2）委員会経過

○平成26年3月11日（火）（第1回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 環境及び公害問題に関する調査を行うことを

決定した。

- 環境行政等の基本施策に関する件について石原国務大臣から所信を聞いた。

- 平成26年度環境省予算及び環境保全経費の概要に関する件について北川環境副大臣から説明を聴いた。
- 公害等調整委員会の業務等に関する件について富越公害等調整委員会委員長から説明を聴いた。
- 原子力規制委員会の業務に関する件について田中原子力規制委員会委員長から説明を聴いた。

○平成26年3月13日(木) (第2回)

- 政府参考人の出席をを求めることを決定した。
- 環境行政等の基本施策に関する件、公害等調整委員会の業務等に関する件及び原子力規制委員会の業務に関する件について石原国務大臣、世耕内閣官房副長官、北川環境副大臣、井上環境副大臣、後藤田内閣府副大臣、赤羽経済産業副大臣、浮島環境大臣政務官、牧原環境大臣政務官、田中原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

吉川ゆうみ君(自民)、長浜博行君(民主)、
浜野喜史君(民主)、竹谷とし子君(公明)、
水野賢一君(みんな)、市田忠義君(共産)、
清水貴之君(維新)

○平成26年3月17日(月) (第3回)

- 政府参考人の出席をを求めることを決定した。
- 平成二十六年度一般会計予算(衆議院送付)
平成二十六年度特別会計予算(衆議院送付)
平成二十六年度政府関係機関予算(衆議院送付)

(総務省所管(公害等調整委員会)及び環境省所管)について石原環境大臣、井上環境副大臣、赤羽経済産業副大臣、岡田内閣府副大臣、北川環境副大臣、牧原環境大臣政務官、田中経済産業大臣政務官、田中原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

中西祐介君(自民)、柳澤光美君(民主)、
竹谷とし子君(公明)、水野賢一君(みんな)、
市田忠義君(共産)、清水貴之君(維新)
本委員会における委嘱審査は終了した。

○平成26年4月10日(木) (第4回)

- 政府参考人の出席をを求めることを決定した。
- 委員会審議における政務三役の対応に関する件、帰還に向けた放射線健康不安対策に関する件、浄化槽の維持管理に関する件、地球温暖化対策税の効果に関する件、水質環境基準CODの測定方法に関する件、水俣病被害者救済に関する件、新たな気候変動キャンペーンに関する件等について石原環境大臣、岡田内閣府副大臣、北川環境副大臣、井上環境副大臣、浮島環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

柳澤光美君(民主)、小見山幸治君(民主)、
竹谷とし子君(公明)、水野賢一君(みんな)、
市田忠義君(共産)、清水貴之君(維新)

- 放射線を発散させて人の生命等に危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第36号)(衆議院送付)について石原環境大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成26年4月15日(火) (第5回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席をを求めることを決定した。
- 放射線を発散させて人の生命等に危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第36号)(衆議院送付)について石原環境大臣、田中原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

吉川ゆうみ君(自民)、浜野喜史君(民主)、
竹谷とし子君(公明)、水野賢一君(みんな)、
市田忠義君(共産)、清水貴之君(維新)

(閣法第36号)

賛成会派 自民、民主、公明、みんな、共産、
維新

反対会派 なし

○平成26年5月8日(木) (第6回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第57号)(衆議院送付)

院送付)について石原環境大臣から趣旨説明を聴いた。

また、同法律案について参考人の出席を求めることを決定した。

○平成26年5月15日(木) (第7回)

- 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第57号)(衆議院送付)について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

[参考人]

兵庫県立大学自然・環境科学研究所准教授
坂田宏志君

特定非営利活動法人伝統肉協会理事長 石
崎英治君

長野県林務部長 塩原豊君

認定特定非営利活動法人トラ・ゾウ保護基
金事務局長 坂元雅行君

[質疑者]

吉川ゆうみ君(自民)、柳澤光美君(民主)、
竹谷とし子君(公明)、清水貴之君(維結)、
水野賢一君(みんな)、市田忠義君(共産)

○平成26年5月22日(木) (第8回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第57号)(衆議院送付)について石原環境大臣、北川環境副大臣、牧原環境大臣政務官、藤川総務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

[質疑者]

中西祐介君(自民)、高橋克法君(自民)、
長浜博行君(民主)、小見山幸治君(民主)、
柳澤光美君(民主)、竹谷とし子君(公明)、
清水貴之君(維結)、水野賢一君(みんな)、
市田忠義君(共産)

(閣法第57号)

賛成会派 自民、民主、公明、維結、みんな
反対会派 共産

なお、附帯決議を行った。

○平成26年6月12日(木) (第9回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。

- 国連持続可能な開発のための教育(ESD)活動に関する件、放射線リスクコミュニケーションに関する件、原子力規制委員会の審査の在り方に関する件、浄化槽の維持管理に関する件、木質バイオマス発電への支援策に関する件、東京電力福島第一原子力発電所の汚染水対策に関する件、放射性物質の常時監視に関する件、除染の目標及び実施状況に関する件等について石原環境大臣、世耕内閣官房副長官、井上環境副大臣、北川環境副大臣、田中原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

高橋克法君(自民)、柳澤光美君(民主)、
浜野喜史君(民主)、小見山幸治君(民主)、
竹谷とし子君(公明)、清水貴之君(維結)、
水野賢一君(みんな)、市田忠義君(共産)

○平成26年6月17日(火) (第10回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 地域自然資産区域における自然環境の保全及び持続可能な利用の推進に関する法律案(衆議院提出)(衆議院提出)について提出者衆議院環境委員長伊藤信太郎君から趣旨説明を聴き、同君、衆議院環境委員長代理河野正美君、同盛山正仁君、同吉田泉君、石原環境大臣、牧原環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

[質疑者]

清水貴之君(維結)、水野賢一君(みんな)、
市田忠義君(共産)

(衆議院提出)

賛成会派 自民、民主、公明、維結、みんな
反対会派 共産

○平成26年6月19日(木) (第11回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 中間貯蔵施設をめぐる石原環境大臣の発言に関する件、中間貯蔵施設の住民説明会に関する件、原子力規制委員会の委員長及び委員の欠格要件に関する件等について石原環境大臣、井上環境副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

水野賢一君（みん）、増子輝彦君（民主）、
清水貴之君（維結）、市田忠義君（共産）

○平成26年6月20日（金）（第12回）

- 請願第570号外64件を審査した。
- 原子力規制委員会設置法の一部を改正する法律案（参第13号）

瀬戸内海環境保全特別措置法の一部を改正する法律案（参第26号）

以上両案の継続審査要求書を提出することを決定した。

- 環境及び公害問題に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。